

鶴岡キャンパス 農学部説明会

日 時

平成 20 年 8 月 1 日 (金) 11:00~16:00 (鶴岡キャンパス)

平成 20 年 8 月 2 日 (土) 9:30~16:30 (小白川キャンパス)

プログラム

平成 20 年 8 月 1 日 (金) 鶴岡キャンパス

全体説明会 (農学部 3 号館 3 階 301 大講義室)

11:00~11:15

歓迎の挨拶：安田弘法学部長

概要、タイムスケジュール説明：農学部学務担当

11:15~12:00

学生生活講演：山形大学農学部学生 2 名

12:00~16:00 の間は以下の催しから自由に選び、参加することができます！

「**農学研究最前線 (模擬講義)**」 (農学部 3 号館 3 階 301 大講義室)

13:00~13:50

■「持続的な食糧生産とバイオエタノール生産—食糧とエネルギーの両立のために—」

安藤豊教授 (栽培土壌学)

石油がなくなる、炭酸ガスの排出量が多い。そのため、バイオエタノール(燃料)の生産が盛んです。バイオ燃料の原材料の生産には農地を利用します。一方で、世界では食料不足に悩む地域が増大しています。今後の農業を考える時、食料生産とバイオ燃料生産の両立が大きな問題です。ここではヤシの 1 種であるサゴヤシを利用した食料生産とバイオ燃料生産の可能性についてお話しします。

14:00~14:50

■「在来作物の品質評価と品質保持」 村山秀樹准教授 (農産物生理化学)

ある土地で長年栽培され、人々に親しまれてきた果物、野菜、穀類などを在来作物とよんでいます。私たちの研究グループでは、在来作物の品質評価法の開発と品質保持法の確立に取り組んでいます。今回の講義では、昨年度私たちのグループが取り組んだ研究 (①ラ・フランスの食べ頃判定、②ダダチャマメの品質評価、③ライフメロンの品質保持) を紹介しつつ、品質評価と品質保持の重要性を皆さんに伝えたいと思います。

15:00~15:50

■「山形県特産農産物から排出される副産物と廃棄物の飼料化に関する研究」 高橋敏能教授 (家畜飼養学)

昨今、穀物がバイオエタノール生産に向けられて飼料価格が高騰している。一方、食品を生産する際排出される多量の副産物と廃棄物の処理が社会的な問題になっている。本研究は、これらの問題を解決するために山形県の農産物 (果樹、枝豆、米) から排出される副産物と廃棄物を対象にして家畜用飼料として開発する課題である。具体的には、飼料の栄養価や嗜好性の改善、近赤外線による品質評価、農家へのアンケートを実施し、幾つかの有益な知見を得た。

入試・学生生活相談コーナー (農学部 3 号館 2 階ホール)

12:00~16:00

入試については農学部学務担当が、学生生活については農学部の学生、大学院生が皆さんの気になることについて相談いたします。

学科紹介

12:00~16:00

■生物生産学科（農学部3号館1階101講義室）

生物生産学科の各研究分野について、卒業論文・修士論文発表会でのポスターを展示しながら学生が分かりやすく説明します。

■生物資源学科（農学部3号館1階102講義室）

生物資源学科教員の主要研究テーマ、研究シーズ「これが私の売り！！」を展示、研究内容の概要を紹介します。

■生物環境学科（農学部3号館1階103講義室）

卒業論文を学生が分かりやすくポスターで説明します。また、実物も展示しています。

■附属やまがたフィールド科学センター（農学部3号館1階ホール）

ポスター等の展示を行います。

施設見学

13:00～16:00（生物資源学科のみ13:00～15:00となります）

■生物生産学科（附属やまがたフィールド科学センター（高坂農場））

附属やまがたフィールド科学センターの概略を説明、各種施設を見学するとともに、農産物の収穫体験と試食を行います。

■生物資源学科（農学部3号館1～4階）

生物資源学科全教員の研究室や実験室を自由に見学していただきます。

■生物環境学科（農学部2号館1階風洞実験室、水理実験棟）

風洞実験室、水理実験棟を見学していただきます。

進路指導担当教諭等との懇談会

13:00～14:00（農学部3号館2階201講義室）

農学部教員により近年における農学部の入試状況等を説明し、フリートーキングを行います。

平成20年8月2日（土） 小白川キャンパス

農学部相談コーナー

9:30～16:30（インフォメーションセンター）

入試、学生生活、農学部ではどのようなことを学ぶことができるか等、皆さんの気になることについて相談に応じます。

対応教員：生物生産学科…角田憲一准教授

生物資源学科…村山哲也教授

生物環境学科…野堀嘉裕教授